

令和3年度日本小児外科学会  
第5回定例理事会議事録

日 時：令和3年10月27日（水） 12：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+Web

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・次期会長）、小野 滋（副理事長）、大植孝治、田中 潔、  
内田広夫、瀧本康史、米田光宏（以上理事）、山高篤行（監事）、照井慶太（庶務委員  
長）、藤野明浩（庶務副委員長）、野田卓男（第38回秋季シンポジウム会長）、  
仁田尾慶太（事務局）

出席者（Web）：

越永従道（理事・会長）、浮山越史、石橋広樹（以上理事）、黒田達夫（監事）、  
田尻達郎（前理事長）、上原秀一郎（財務会計委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員  
長）、家入里志（施設認定委員会委員長）、菱木知郎（専門医認定委員会委員長）、  
古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）、金森 豊（第37回秋季シンポジウム会  
長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）

欠席者：増本幸二（理事）

議事案件：

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、小野滋副理事長、米田光宏理事とした。
2. 金森豊会長より第37回秋季シンポジウムについて開催準備状況が報告され、了承された。
3. 令和3年度第4回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。
4. 審議事項  
1) 第59回学術集会について（越永会長）

越永会長より資料に基づき、現在の進捗状況の報告があり、承認された。演題申し込み時の倫理手続きに関して、演題採択の採否の最終決定は今まで通り会長判断として進めることが確認された。

日時：令和4年5月19日（木）、20日（金）、21日（土）

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム

テーマ：創業と守成

- 2) 第60回学術集会について（奥山次期会長）

奥山次期会長より、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和5年6月1日（木）、2日（金）、3日（土）

会場：大阪国際会議場

3) 第 38 回秋季シンポジウムについて（野田次期秋季シンポジウム会長）

野田次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況等が報告され、承認された。演題については秋季シンポジウムに申し込まれたものでも、各研究会の演題に振り分けられる可能性があることを演題申し込みページに一言断り文を入れて演題募集することが確認された。

日時：令和 4 年 10 月 29 日（土）

会場：岡山コンベンションホール

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

4) 第 39 回秋季シンポジウムについて（臼井次々期秋季シンポジウム会長）

臼井次々期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況等が報告され、承認された。開催形式は現地+webのハイブリッド形式で運営会社は九州舞台を予定していると報告された。

日時：令和 5 年 10 月 28 日（土）

会場：九州大学百年講堂

テーマ：小児外科領域における感染症対策

5) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（照井委員長）

照井委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2021 年 9 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,681 名（うち海外 1 名）、評議員 310 名、準会員 25 名、名誉会員 57 名（うち海外 8 名）、特別会員 68 名（うち海外 1 名）、賛助会員 1 団体の合計 2,141 名+1 団体である。名誉会員の故井口潔先生、故大川治夫先生の追悼文の依頼先について検討された。

クォーター性について総合調整委員会で検討した結果が報告され、定款は変更しないこと、用語は「女性幹事」とすること、任期は 2 年とすることなどが合意された。また、理事の選任数についてスケジュールを作成して、次回理事会で確認することとした。

(2) 財務会計委員会（上原委員長）

上原委員長より資料に基づき、団体保険制度の加入数は 187 件で 200 件に到達しなかったことが報告された。また、ゆうちょ銀行より、現在の年会費収納口座の MT 口座の利用料について、今まで無料だったものが来年 2 月から手数料が発生するとの通達があったと報告があり、今後について検討した結果、ゆうちょ銀行の郵便振替口座を新規作成して進めることが承認された。

(3) 専門医制度委員会（家入施設認定委員会委員長、菱木専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長）

家入施設認定委員会委員長、菱木専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会

委員長より、11月に日本専門医機構によるサブスペシャリティ領域整備基準審査結果、説明会が開催される予定であると報告された。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、投稿規定の改訂、論文審査用紙の改訂を行ったと報告された。

(5) 国際・広報委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より、関連学会・研究会ページについて委員会で検討を継続していると報告された。

(6) 保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、日本新生児成育学会より NICU 管理加算の要件について、新生児特定集中治療室管理料 1 の施設基準の一つに、イ 直近 1 年間の当該治療室に入院している患者について行った開胸手術、開頭手術又は開腹手術の年間実施件数が 6 件以上であること。があるが、昨今の内視鏡手術の増加により、開胸手術・開腹手術が減少したため算定要件に満たなくなる施設があるのではないかと。算定見直しについて要望を出す際に、手術件数調査の依頼がある可能性があるため、準備が必要であるという情報が共有された。

(7) 教育委員会（内田担当理事）

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・第 37 回卒後教育セミナー及び第 12 回内視鏡手術セミナーの準備について、完全 Web 開催の予定で、内容は決定した。

- ・第 38 回以降の卒後教育セミナーについて、1 日で終わるスケジュールで、業者を頼らずに教育委員で運営できるようにする予定である。

- ・卒後教育セミナーの講義項目について、今後 3 年間の卒後教育セミナーの講義項目について第 1 回目の総論に「小児内視鏡手術」、第 3 回目の小児外科関連領域に「出生前診断、胎児治療」を追加した。

- ・E-learning について、日本外科学会プラットフォームを利用した E-learning 立ち上げの準備を行っている。

- ・学術集会で各講習を毎年 1 つの分野の講習に限定して順番に開催する方針となったことを受けて検討した結果、①研究倫理、②救急、③感染、④倫理・医療安全の順に開催することとし、来年第 59 回学術集会では研究倫理講習会を開催する。

- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策について、いくつか出た案の中で 5 分間ほどのプロモーションビデオの作成を行うこととし、まずは見積もりを取る所から始めることとした。

(8) 悪性腫瘍委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、日本小児がん全国登録委員会から、委員参加の依頼が来たことの報告があり、現状を鑑み辞退することが承認された。前委員長にも文面を確認の上、発送することとした。

(9) 学術・先進医療検討委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・2018年新生児外科全国集計学会誌報告論文内の数値に誤りがあったと報告があり、論文訂正の手続きをすることとした。
- ・WLB検討委員会からの「ハラスメントに関するアンケート調査」、小児救急検討委員会からの「COVID-19による小児外科診療への影響に関するアンケート調査」について委員会で審議したことが報告された。
- ・学会企画演題提案について、各カテゴリー毎に3年計画の演題を新しく提案し、学会企画演題案を更新した一覧表を作成した。

(10) 倫理・医療安全管理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より資料に基づき、アセトアミノフェン静注製剤過量投与問題について、日本小児期外科系関連学会協議会に送付したことが報告された。

(11) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、今年度のNCDデータを利用した複数領域にまたがる新規研究についてのスケジュールが提案され、承認された。

(12) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、10月3日に2021年度小児救急連絡協議会が開催され、日本小児救急医学会に日本小児外科学会の会員が少ないため、ジョイントセッションを行う等で、会員に対して日本小児救急医学会の存在をアピールしてはどうかという意見が出たと報告された。また、日本小児救急医学会より、救急救命士のミダゾラム口腔用液（プロラム®）使用を可能にする要望書が届いたと報告があり、要望書の連名に加わることが承認された。

(13) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・10月29日に社会学者の上野千鶴子氏に『女性医師が増えると誰が困るのか？～医療のサステナビリティと未来』と題して講演を予定している。

- ・「ハラスメントに関するアンケート調査」を年内に調査開始、回収する予定である。
- ・「ハラスメント防止指針」の原案を作成予定。
- ・第59回学術集会において、ハラスメントに関する企画を予定している。
- ・日本医師会の女性医師サポートセンター「医学生、研修医等をサポートするための会」に共催を申請しており、今後もこの活動は継続する方針である。
- ・日本外科学会男女共同参画委員会に提出を予定していた提言が、手違いで日本外科学会に届いていなかったと報告された。

(15) 規約委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(16) 研究倫理委員会（石橋担当理事）

石橋担当理事より、第59回学術集会時に行う研究倫理委員会の講習会は日本外科学会専門医共通講習として開催し、東北大学の仁尾先生を演者として招き、日本外科学会の倫理委員会委員長をされていた当時、倫理指針を作成された経緯について講演と研究倫理委員会委員長の尾山先生に講演してもらう予定であると報告された。

(17) NCD連絡委員会（淵本担当理事）

淵本担当理事より資料に基づき、本学会専門医認定制度運用「術式対応表」について、「小児外科\_NCD 術式対応表」を見易くする目的で、「各 NCD 術式が本学会で認めるどの区分の術式かがわかる様式の工夫」を NCD 連絡委員会と専門医制度各委員会で検討を開始して良いか確認があり、進めることが承認された。また、藤野明浩先生の顧問就任について提案があり、承認された。

(18) ガイドライン委員会（米田担当理事）

米田担当理事より資料に基づき、日本医学放射線学会から依頼のあった画像診断ガイドライン 2021 年度版の外部評価が完了したこと、腸回転異常症診断ガイドライン、小児胃軸捻転症診断ガイドラインの進捗状況が報告された。

(19) 利益相反委員会（増本担当理事欠席のため奥山理事長）

増本担当理事欠席のため奥山理事長より、今回特に報告事項が無い旨が述べられた。

(20) 医薬品・医療機器検討委員会（内田担当理事）

内田担当理事より、小児の開発候補医薬品を推薦すべく準備を進めていると報告された。

(21) 総合調整委員会（小野委員長）

小野委員長より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・ハラスメント予防指針作成について
  - ・女性理事のクォーター制度について
  - ・新専門医制度における学会の取り組み
  - ・4者協議から「成育医療等の提供に関する施策」に関する基本的な事項に対する各学会の行動目標の取りまとめの依頼
  - ・日本小児がん全国登録委員会の登録事業への関わり方について
- また、以下は継続審議であることが報告された。
- ・学術集会のあり方について
  - ・小児外科専門医の地域ごとの適正数
  - ・小児外科関連研究会の今後のあり方
  - ・学生、若手医師をリクルートするための具体的方策
  - ・海外での研修システム、海外からの研修の受け入れについて

#### (22) 日本外科学会理事会（田尻前理事長）

田尻前理事長より資料に基づき、以下の点について報告があり、承認された。

- ・第 123 回外科学会学術集会におけるプログラム委員会への小児外科学会理事会からの参画について、今後も継続して理事会メンバーを委員にすることを申し入れており、現在小野副理事長が委員に加わっている。
- ・第 121 回外科学会学術集会に関するアンケートについて、各サブスペシャリティの理事長宛にアンケートの回答を促すよう依頼がされた。
- ・日本外科学会 E-learning プラットフォームを本会でも利用できるよう依頼をした。

#### (23) 四者協関連（奥山理事長）

奥山理事長より資料に基づき、令和 4 年度診療報酬改定に関する要望書を厚生労働大臣に提出したこと、オンダンセトロンが術後の制吐に対して保健適応となったこと等が報告された。

### 5. 報告事項

#### 1) 理事長報告（奥山理事長）

- (1) 第 4 回メール審議報告（“女性医師のための環境整備”に関する外科学会との共同提言）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (2) 第 5 回メール審議報告（COVID-19 による小児外科診療への影響に関するアンケート調査）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (3) 第 6 回メール審議報告（職場でのハラスメントに関するアンケート調査）について、全会一致にて承認されたことが報告された。
- (4) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報第 61 号」を受領した。
- (5) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 2021 年 9 月号」を受領した。

- (6) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.188」を受領した。
- (7) 日本医学会からの寄贈本「日本医学会分科会一覧」を受領した。
- (8) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみつく Vol.42-2」を受領した。
- (9) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No.205」を受領した。
- (10) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol.51-9」を受領した。
- (11) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「がん治療認定医教育セミナーテキスト」を受領した。
- (12) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.386」を受領した。
- (13) 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会からの通信文「学会名称変更のお知らせ」を受領した。
- (14) 日本小児循環器学会からの通信文「役員交代のお知らせ」を受領した。
- (15) 日本新生児看護学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (16) 日本医学会からの通信文「医療法第六条の五第三項及び第六条の七第三項の規定に基づく医業、歯科医業若しくは助産師の業務又は病院、診療所若しくは助産所に関して広告することができる事項の一部を改正する告示の施行について」を受領した。
- (17) AYA がんの医療と支援のあり方研究会からの通信文「AYA week 2022 への協働のお願い」を受領した。
- (18) 「小児のアセトアミノフェン静注製剤過量投与問題」に関する注意喚起の文章を日本小児期外科系関連学会協議会宛に受領した。
- (19) 「気になるネット記事の回答文書」を受領した。前回理事会で報告したクリニックから HP 上の表記が誤っていたと、訂正とお詫びの文章を受け取った。

## 2) 次回定例理事会日程の確認（奥山理事長）

次回理事会は令和4年1月19日（水）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

副理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_